

学校だより

NO.26

2024（令和6）年12月11日

伊賀市立西柘植小学校

発行責任者 里田雅彦

邦楽アウトリーチ

11月12日（火）に琴と尺八の演奏を鑑賞しました。伊賀市文化都市協会の事業として今年度西柘植小で実施されました。

全校児童が青空教室に集まり、日本の伝統的楽器である琴と尺八の音色を楽しむことができました。まずはじめに虚無僧姿の尺八奏者が演奏しながら会場に登場し、子どもたちから歓声があがりました。曲目は、「鹿の遠音」「六段の調」など、琴や尺八の音の特徴がよくわかるものでした。尺八をふく時の唇の形の大切さや長さによって種類があること、音楽の時間に習っている「ドレミファソラシド」の音階ではないことを教えていただき、新たに知ることがたくさんありました。琴の演奏でも、弦の数によってさまざまな種類があることや琴によって音色が違うことを学ぶことができました。最後には、琴爪をつけて実際に弾かせてもらい、琴の音色をよりじかに感じることができました。



部落問題を考えるいがまち6年生の集い

11月18日（月）に6年生が柘植小学校と壬生野小学校の子どもたちと交流しました。3校の子どもたちが柘植小学校に集まり、まずはじめに2人の方からお話を聞きました。人とかかわることや事実を知って考えること、自分の素を出せる居場所があることの大切さなど、これまでの経験を交えながらお話を聞かせていただきました。その後、7つのグループに分かれ、お話を聞いた感想やこれまで各校で取り組んできたことや考え合ってきたことを出し合い、交流しました。子どもたちは、緊張しながらも一生懸命伝え合ったり聞き合ったりすることができ、充実した交流会になりました。



6年生の子どもたちにとっては、今回が3回目の交流会でした。こうした交流は来年度の霊峰中学校での活動につながっていきます。そして、中学校では柘植中と霊峰中の交流会が各学年ごとに行われます。同じいがまちに住む仲間として、お互いのことをさらに知り、ともに考え合い、つながってほしいと思います。